

スバルの歴史・・・飛行機の技術者たちが作った会社

横＝年代／縦＝4つの流れ。技術のレーンで一度決めたこと（水平対向・四駆・安全）が、その後ずっと変わっていません。

● 会社のできごと ● 危機と転換 ● 世界へ ● 技術

	～1920s 創業期	1930s 戦前	1940s 戦中戦後	1950s 再建	1960s 大衆化	1970s 規制	1980s 世界へ	1990s 転機	2000s 再編	2010s 立て直し	2020s 電動化
会社のできごと 組織・体制	1917 飛行機の研究所が創立 のちの中島飛行機		1945-50 会社が分割される 航空機を作れなくなり、 1950年に12社へ	1953 富士重工業 設立 5社が集まって誕生					2005 トヨタが筆頭株主に	2017 社名をSUBARUに変更	2020s 北米が最大の市場 ⌚
危機と転換 揺れた時期			1945 航空機の生産が禁止 会社の存立そのものが揺らぐ			1973 オイルショック 小さく 燃費のいい車が求められる		1990s 販売の低迷 提携先を探す時期が続く		2017-18 完成検査の手続き問題 安全を看板にする会社として重い	2020s 電動化投資と車種の少なさ ⌚
世界へ 輸出・ラリー・北米					1968 米国に販売会社を設立		1987-89 米国インディアナ州に工場 1987年設立・1989年生産開始	1995-97 世界ラリー選手権で3連覇 メーカー部門		2010s 北米が主力市場に	2020s 北米頼みの構造が課題 ⌚
技術 作ったもの				1958 スバル360 国民車と呼ばれた軽	1966 スバル1000 水平対向エンジン＋前輪駆動	1972 レオーネで四駆を量産 雪国の要望から生まれた	1989 レガシィ ワゴンの流れを作る	1992 インプレッサ ラリーで名を上げる	2008 アイサイト 2つのカメラで前を見る	2018 e-BOXER 水平対向のハイブリッド	2022 ソルテラ トヨタと共同のEV ⌚

🏆 いちばん大きな決断

1972年の四輪駆動。雪国の要望から生まれた工夫が、いまでは会社そのものの看板になりました。地方の現場の声が会社の性格を決めた例です。

💡 ここだけ押さえる

技術のレーンで一度決めたことが、50年たっても変わっていません。流行に乗らないことを選び続けた結果が、いまの評価につながっています。

⚠️ 影の部分も見る

2017年から18年にかけて、完成検査の手続きに問題があったことが公表されました。安全を看板にする会社だからこそ、知っておくべき事実です。